

教科(科目)	芸術（音楽Ⅰ）	単位数	2単位	学年(コース)	1 学年
使用教科書	教育芸術社『MOUSA 1』				
副教材等	新・楽典ワーク（ドレミ楽譜出版社）				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	～卒業までにこのような資質・能力を育成します～ ①確かな学力と豊かな人間性を身に付け、様々な場面に対応できる知識・技能を有し、何事にも主体的・創造的に取り組む力を育てます。 ②国際感覚や多様性を理解する姿勢を身に付け、広い視野を持ち、他者と協働し社会に貢献する態度を育てます。 ③よりよい社会を創造するリーダーとなるにふさわしい精神と、高い目標の実現のために粘り強く努力し続ける姿勢を育てます。
カリキュラム・ポリシー	～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～ ①生徒の資質能力の最大限の伸長のために、適切な科目の配置やICTの活用などに取り組み、確かな学力に基づいた思考・判断・表現する力を育成します。 ②生徒の個性を尊重した進路実現のために、地域の人的資源を活用して様々な体験をする機会を設け、キャリア教育の充実を図ります。 ③生徒の視野を広げ、多様な価値観を身に付けさせるために、様々な探究活動や体験活動を通して、教科横断的な思考と協働活動の中で合意形成する力を育てます。

2 学習目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次の通り育成していくことを目指す。

- 1 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技術を身に付けるようにする。
- 2 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
- 3 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

3 指導の重点

- 1 感性を働かせて、音楽の諸要素を知覚し、音楽のよさや美しさを感じ取り、創造的な音楽活動の工夫をする。
- 2 自己のイメージを持ち、創造的な表現をするための技能を身に付ける。
- 3 多様な音楽を理解し、そのよさや美しさを創造的に味わう。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
創意工夫を生かした音楽表現にするために必要な歌唱、器楽、創作の知識・技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を思考・判断し、それらの働きを感受しながら音楽表現を工夫し、どのように演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図を持っている。	音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組んでいる。

5 評価方法

評価方法	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
	以上の観点を踏まえ、 ① 歌唱テスト、演奏テスト ② グループ発表 ③ 課題の提出 ④ 授業への取組状況 などから総合的に評価します。	以上の観点を踏まえ、 ⑤ 歌唱テスト、演奏テスト ⑥ グループ発表 ⑦ 課題の提出 ⑧ 授業への取組状況 などから総合的に評価します。	以上の観点を踏まえ、 ⑨ 歌唱テスト、演奏テスト ⑩ グループ発表 ⑪ 課題の提出 ⑫ 授業への取組状況 などから総合的に評価します。

6 学習計画

月	単元名	授業時数 と領域	教材名	学習活動(指導内容)	評価の観点	評価方法
4	校歌を歌う	2	校歌	・歌詞を覚える。	b, c	校歌への取組状況
	楽譜を記譜する	2	校歌	・校歌を記譜する	a, c	レポート提出
5	リコーダー	6	教科書・副教材	・運指を覚え、綺麗な音を出せるように練習する。	a, b, c	実技テスト
	日本の音楽 I	4	教科書歌唱教材	・楽曲に興味を持ち、積極的に活動する。 ・曲種に応じて、のびのびと表現する。	a, b, c	歌唱の取組状況
6	合唱	5	教科書	・各声部ごとに練習する、合奏する	a, b, c	グループ発表 全体発表
	日本の曲 (ポップス系)	3	教科書	・歌唱教材を歌う。	a, b, c	歌唱の取組状況
7	フランスの音楽	2	教科書	・フランスの音楽を鑑賞する。	a, b	鑑賞の取組状況
	1 学期まとめ	2	校歌	・校歌独唱。	a, b	校歌の独唱テスト
8	世界の音楽	4	教科書	・歌唱教材を歌う。	a, b, c	実技テスト
	楽典	4	教科書・副教材	・音符、休符、拍子、リズムを理解する。	a	楽譜の理解
9	ミュージックベルアンサンブル	4	教科書器楽教材	・ハーモニーを考えて演奏する。合奏する。	a, b, c	演奏の取組状況
10	世界の作曲家・日本の作曲家	2	教科書・DVD教材	・作曲家の作品と歴史	a, c	授業の取組状況
11	グループで音楽作り、みんなで音楽作り	7	教科書器楽教材	・楽曲にふさわしい表現を積極的に努力し発表する。	a, b, c	グループ発表、課題提出
	2 学期まとめ	2	教科書器楽教材	・課題提出		

12	ミュージカルと映画音楽	6	ブロードウェイミュージカル	・詩と音楽の関わりを知る。 ・歌唱教材を歌う。	a, b, c	授業の取組状況
1	ギター	7	教科書器楽教材	・TAB譜の読み方。 ・メロディーを弾く。	a, c	演奏の取組状況
2	1年間のまとめ	2	教科書器楽教材	・演奏、発表 ・課題提出	a, b, c c	実技テスト、鑑賞の記録を提出
3						

計 64 時間 (55 分授業)

7 課題・提出物等

- ・鑑賞の記録・感想を書いて提出してもらいます。
- ・さまざまな実技課題に個々のレベルやペースに応じて取り組んでください。

8 担当者からの一言

様々なジャンルにチャレンジして、音楽を一生楽しめるような技能を身につけましょう。また、日本に限らず、世界の様々な音楽を教材として扱いますので、音楽を鑑賞する力も身に付けてください。